

# 新 旧 対 照 表

【 森林整備保全事業 I C T 活用工事（法面工）積算要領 】

改 正 後	現 行	備 考
<p><b>1. 適用範囲</b></p> <p>本資料は、3次元設計データを活用した法面工（以下、法面工（I C T））及びI C T施工による3次元マシンコントロール（バックハウ）技術及び3次元マシンガイダンス（バックハウ）技術を使用した盛土法面整形工及び切土法面整形工に適用する。</p> <p>1 工事当りの土工作業の取り扱い土量が1,000m3以上の法面整形の積算にあたっては、施工パッケージ型積算基準により行うこととする。</p> <p>1 工事当りの土工作業の取り扱い土量が1,000m3未満の積算にあたっては、本要領によるものとする。</p> <p>※土工量1,000m3未満とは、盛土量又は切土量が1,000m3未満の場合をいう。</p>	<p><b>1. 適用範囲</b></p> <p>本資料は、3次元設計データを活用した法面工（以下、法面工（I C T））及びI C T施工による3次元マシンコントロール（バックハウ）技術及び3次元マシンガイダンス（バックハウ）技術を使用した盛土法面整形工及び切土法面整形工に適用する。</p> <p>1 工事当りの土工作業の取り扱い土量が1,000m3以上の法面整形の積算にあたっては、施工パッケージ型積算基準により行うこととする。</p> <p>1 工事当りの土工作業の取り扱い土量が1,000m3未満の積算にあたっては、本要領によるものとする。</p> <p><u>【 新 設 】</u></p>	<p>土工量 1,000m3 未満の定義を明記</p>
<p><b>2. 【 省 略 】</b></p>	<p><b>2. 【 省 略 】</b></p>	
<p><b>3. 機械経費</b></p> <p>3－1 機械経費</p> <p>法面整形工（I C T）の積算で使用する I C T 建設機械の機械経費は、以下のとおりとする。</p> <p>なお、損料については、最新の「建設機械等損料算定表」、賃料については、「森林整備保全事業設計積算要領等の細部取り扱い」により算定するものとする。</p> <p>法面整形工（I C T）</p> <p><u>【表 省略】</u></p> <p><u>【 削 除 】</u></p>	<p><b>3. 機械経費</b></p> <p>3－1 機械経費</p> <p>法面整形工（I C T）の積算で使用する I C T 建設機械の機械経費は、以下のとおりとする。</p> <p>なお、損料については、最新の「建設機械等損料算定表」、賃料については、「森林整備保全事業設計積算要領等の細部取り扱い」により算定するものとする。</p> <p>法面整形工（I C T）</p> <p><u>【表 省略】</u></p> <p><u>※2－1 機械経費のうち、損料にて計上する I C T 施工対応型の機械経費には、地上の基準局・管理局以外の賃貸費用が含まれている。</u></p>	<p>積算要領を改正したことにより削除</p>
<p>3－2 ICT 建設機械経費加算額</p> <p>3－2－1 損料加算額</p> <p>ICT建設機械経費損料加算額は、建設機械に取付ける各種機器及び地上の基準局・管理局の賃貸費用とし、3－1 機械経費のうち損料にて計上するICT建設機械に適用する。</p> <p>なお、加算額は、以下のとおりとする。</p> <p>（1）法面整形工（I C T）</p> <p>対象建設機械：バックハウ</p> <p>損料加算額：5,470円／日</p>	<p>3－2 ICT 建設機械経費加算額</p> <p>3－2－1 損料加算額</p> <p>ICT建設機械経費損料加算額は、建設機械に取付ける各種機器及び地上の基準局・管理局の賃貸費用とし、2－1 機械経費のうち損料にて計上するICT建設機械に適用する。</p> <p>なお、加算額は、以下のとおりとする。</p> <p>（1）法面整形工（I C T）</p> <p>対象建設機械：バックハウ</p> <p>損料加算額：5,470円／日</p>	<p>番号の修正</p>
<p>3－3 【 省 略 】</p>	<p>3－3 【 省 略 】</p>	
<p><b>4. 3次元起工測量・3次元設計データの作成費用</b></p> <p><b>（法面工）</b></p> <p>3次元起工測量・3次元設計データの作成を必要とする場合は、共通仮設費の技術管理費に計上するものとし、必要額を適正に積み上げるものとする。</p> <p><b>（法面整形工）</b></p>	<p><b>3. 3次元起工測量・3次元設計データの作成費用</b></p> <p><u>【 新 設 】</u></p> <p>3次元起工測量・3次元設計データの作成を必要とする場合は、共通仮設費の技術管理費に計上するものとし、必要額を適正に積み上げるものとする。</p> <p><u>【 新 設 】</u></p>	<p>番号を修正</p> <p>法面工と法面整形を分けて記載</p>

# 新 旧 対 照 表

【 森林整備保全事業 I C T活用工事（法面工）積算要領 】

改 正 後	現 行	備 考																																								
<p>3次元設計データの作成を必要とする場合は、共通仮設費の技術管理費に計上するものとし、必要額を適正に積み上げるものとする。</p> <p><b>5. 3次元出来形管理・3次元データ納品の費用、外注経費等の費用（法面工）</b></p> <p>3次元座標値を面的に取得する機器を用いた出来形管理及び3次元データ納品を行う場合における経費の計上方法については、共通仮設費率、現場管理費率に以下の補正係数を乗じるものとする。ただし、法面工（ICT）を同時に実施する土工（ICT）において補正係数を乗じる場合は適用しない。</p> <p>・共通仮設費率補正係数：1.2</p> <p>・現場管理費率補正係数：1.1</p> <p>※小数点第3位四捨五入2位止め</p> <p>なお、法面工（ICT）において、経費の計上が適用となる出来形管理は、以下の1）～4）とし、それ以外の、ICT活用工事（法面工）実施要領に示された、出来形管理の経費は、補正係数を乗じない共通仮設費率及び現場管理費率に含まれている。</p> <p>1）～5）【省略】</p> <p>（法面整形工）</p> <p>原則、断面管理にて出来形管理を実施するため、標記経費は計上しない。</p> <p>【参考】</p> <p>1－1 施工歩掛</p> <p>1－1 盛土法面整形工</p> <p>（1）削り取り整形</p> <p>表 1. 1 削り取り整形歩掛 (100m2当り)</p> <table><tr><th rowspan="2">名 称</th><th rowspan="2">規 格</th><th rowspan="2">単 位</th><th>土 質</th></tr><tr><td>礫質土 砂及び砂質土 粘性土</td></tr><tr><td>土木一般世話役</td><td></td><td>人</td><td>0.16(0.24)</td></tr><tr><td>普通作業員</td><td></td><td>〃</td><td>0.24(0.36)</td></tr><tr><td rowspan="2">バックホウ （クローラ型）運転</td><td>後方超小旋回型・超低騒音型 排出ガス対策型(第3 次基準値) 山積0.45m3(平積0.35m3)</td><td>日</td><td>0.61</td></tr><tr><td>【削除】</td><td>【削除】</td><td>【削除】</td></tr></table> <p>（注）1. ～ 4. 【省略】</p>	名 称	規 格	単 位	土 質	礫質土 砂及び砂質土 粘性土	土木一般世話役		人	0.16(0.24)	普通作業員		〃	0.24(0.36)	バックホウ （クローラ型）運転	後方超小旋回型・超低騒音型 排出ガス対策型(第3 次基準値) 山積0.45m3(平積0.35m3)	日	0.61	【削除】	【削除】	【削除】	<p><b>4. 3次元出来形管理・3次元データ納品の費用、外注経費等の費用【新設】</b></p> <p>3次元座標値を面的に取得する機器を用いた出来形管理及び3次元データ納品を行う場合における経費の計上方法については、共通仮設費率、現場管理費率に以下の補正係数を乗じない。</p> <p>また、法面工（ICT）において、経費の計上が適用となる出来形管理は、以下の1）～4）とし、それ以外の、ICT活用工事（法面工）実施要領に示された、出来形管理の経費は、補正係数を乗じない共通仮設費率及び現場管理費率に含まれている。</p> <p>1）～5）【省略】</p> <p><u>【新設】</u></p> <p>【参考】</p> <p>1－1 施工歩掛</p> <p>1－1 盛土法面整形工</p> <p>（1）削り取り整形</p> <p>表 1. 1 削り取り整形歩掛 (100m2当り)</p> <table><tr><th rowspan="2">名 称</th><th rowspan="2">規 格</th><th rowspan="2">単 位</th><th>土 質</th></tr><tr><td>レキ質土 砂及び砂質土 粘性土</td></tr><tr><td>土木一般世話役</td><td></td><td>人</td><td>0.16(0.24)</td></tr><tr><td>普通作業員</td><td></td><td>〃</td><td>0.24(0.36)</td></tr><tr><td rowspan="2">バックホウ （クローラ型）運転</td><td>後方超小旋回型・超低騒音型 排出ガス対策型(第3 次基準値) 山積0.45m3(平積0.35m3)</td><td>日</td><td>0.61</td></tr><tr><td>標準型・ICT施工対応型・超低騒音型・クレーン機能付き・排出ガス対策型(2014年規制)・クローラ型(法面バケット付) 山積0.8m3(平積0.6m3)・吊能力2.9t</td><td>〃</td><td>0.41</td></tr></table> <p>（注）1. ～ 4. 【省略】</p>	名 称	規 格	単 位	土 質	レキ質土 砂及び砂質土 粘性土	土木一般世話役		人	0.16(0.24)	普通作業員		〃	0.24(0.36)	バックホウ （クローラ型）運転	後方超小旋回型・超低騒音型 排出ガス対策型(第3 次基準値) 山積0.45m3(平積0.35m3)	日	0.61	標準型・ICT施工対応型・超低騒音型・クレーン機能付き・排出ガス対策型(2014年規制)・クローラ型(法面バケット付) 山積0.8m3(平積0.6m3)・吊能力2.9t	〃	0.41	<p>番号の修正</p> <p>積算要領を改正したことによる補正係数の追記</p> <p>番号の修正</p> <p>字句の修正</p> <p>積算要領の改定によりバックホウ山積 0.8m3 の歩掛を削除</p>
名 称				規 格	単 位	土 質																																				
	礫質土 砂及び砂質土 粘性土																																									
土木一般世話役		人	0.16(0.24)																																							
普通作業員		〃	0.24(0.36)																																							
バックホウ （クローラ型）運転	後方超小旋回型・超低騒音型 排出ガス対策型(第3 次基準値) 山積0.45m3(平積0.35m3)	日	0.61																																							
	【削除】	【削除】	【削除】																																							
名 称	規 格	単 位	土 質																																							
			レキ質土 砂及び砂質土 粘性土																																							
土木一般世話役		人	0.16(0.24)																																							
普通作業員		〃	0.24(0.36)																																							
バックホウ （クローラ型）運転	後方超小旋回型・超低騒音型 排出ガス対策型(第3 次基準値) 山積0.45m3(平積0.35m3)	日	0.61																																							
	標準型・ICT施工対応型・超低騒音型・クレーン機能付き・排出ガス対策型(2014年規制)・クローラ型(法面バケット付) 山積0.8m3(平積0.6m3)・吊能力2.9t	〃	0.41																																							

# 新 旧 対 照 表

【 森林整備保全事業 I C T 活用工事（法面工）積算要領 】

改 正 後				現 行				備 考		
(2) 削り取り整形 表 1. 2 築立 (土羽) 整形歩掛 (100m2当り)				(2) 削り取り整形 表 1. 2 築立 (土羽) 整形歩掛 (100m2当り)				字句の修正		
名 称	規 格	単 位	土 質	名 称	規 格	単 位	土 質			
			礫質土 砂及び砂質土 粘性土				レキ質土 砂及び砂質土 粘性土			
土木一般世話役		人	0.30(0.44)	土木一般世話役		人	0.30(0.44)			
普通作業員		〃	0.32(0.47)	普通作業員		〃	0.32(0.47)	積算要領の改定によりバックホウ山積 0.8m3 の歩掛を削除		
バックホウ (クローラ型) 運転	後方超小旋回型・超低騒音型 排出ガス対策型(第3 次基準値) 山積0.45m3(平積0.35m3)	日	0.96	バックホウ (クローラ型) 運転	後方超小旋回型・超低騒音型 排出ガス対策型(第3 次基準値) 山積0.45m3(平積0.35m3)	日	0.96			
	【削除】	【削除】	【削除】		標準型・I C T施工対応型・超低騒音型・クレーン機能付き・排出ガス対策型(2014年規制)・クローラ型(法面バケット付) 山積0.8m3(平積0.6m3)・吊能力2.9t	〃	0.65			
(注) 1. ～ 5. 【 省 略 】				(注) 1. ～ 5. 【 省 略 】					番号の修正	
1－ <u>2</u> 切土法面整形工 (1) 切土法面整形				1－ <u>1－2</u> 切土法面整形工 (1) 切土法面整形						
表 1. 3 切土法面整形歩掛 (100m2当り)				表 1. 3 切土法面整形歩掛 (100m2当り)				字句の修正		
名 称	規 格	単 位	土 質		名 称	規 格	単 位			土 質
			礫質土 砂及び砂質土 粘性土	軟岩 (I)					レキ質土 砂及び砂質土 粘性土	軟岩 (I)
土木一般世話役		人	0.33(0.49)	0.44(0.65)	土木一般世話役		人		0.33(0.49)	0.44(0.65)
普通作業員		〃	0.27(0.40)	0.38(0.56)	普通作業員		〃	0.27(0.40)	0.38(0.56)	
バックホウ (クローラ型) 運転	後方超小旋回型・超低騒音型 排出ガス対策型(第3 次基準値) 山積0.45m3(平積0.35m3)	日	0.96	1.12	バックホウ (クローラ型) 運転	後方超小旋回型・超低騒音型 排出ガス対策型(第3 次基準値) 山積0.45m3(平積0.35m3)	日	0.96	1.12	
	【削除】	【削除】	【削除】	【削除】		標準型・I C T施工対応型・超低騒音型・クレーン機能付き・排出ガス対策型(2014年規制)・クローラ型(法面バケット付) 山積0.8m3(平積0.6m3)・吊能力2.9t	〃	0.65	0.76	
(注) 1. ～ 6. 【 省 略 】				(注) 1. ～ 6. 【 省 略 】				積算要領の改定によりバックホウ山積 0.8m3 の歩掛を削除		

# 新 旧 対 照 表

【 森林整備保全事業 I C T 活用工事（法面工）積算要領 】

改 正 後				現 行				備 考	
1－3 日当たり施工量（D） 法面整形工（I C T施工）における日当たり施工量は，次表を標準とする。				1－2 日当たり施工量（D） 法面整形工（I C T施工）における日当たり施工量は，次表を標準とする。				番号の修正	
表 1． 4 日当たり施工量 (m2/日)				表 1． 4 日当たり施工量 (m2/日)					字句の修正
整形箇所	作業区分	土質	標準施工量	整形箇所	作業区分	土質	標準施工量		
盛土部	削り取り整形	礫質土，砂及び砂質土，粘性土	242(164)	盛土部	削り取り整形	レキ質土，砂及び砂質土，粘性土	242(164)		
	築立（土羽）整形	礫質土，砂及び砂質土，粘性土	154(104)		築立（土羽）整形	レキ質土，砂及び砂質土，粘性土	154(104)		
切土部	切土整形	礫質土，砂及び砂質土，粘性土	154(104)	切土部	切土整形	レキ質土，砂及び砂質土，粘性土	154(104)		
		軟岩（I）	132(89)			軟岩（I）	132(89)		
(注) 1． 土工量1,000m3未満の現場における法面整形作業は( )の施工量とする。				(注) 1． 土工量1,000m3未満の現場における法面整形作業は( )の施工量とする。				積算要領の改定による単価表の追加	
1－4 単価表 (1) 削取り又は築立（土羽）及び切土整形100m2当り単価表				【 新 設 】					
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要					
土木一般世話役		人		表1. 1、表1. 2、表1. 3					
普通作業員		〃		〃					
バックホウ (クローラ型) 運転	後方超小旋回型・超低騒音型 排出ガス対策型(第3次基準値) 山積0. 45m3(平積0. 35m3)	日		表1. 1、表1. 2、表1. 3 機械損料					
諸経費		式	1						
計									
(2) 機械運転単価表									
機 械 名	規 格	適用単価表		摘 要					
バックホウ (クローラ型)	後方超小旋回型・超低騒音型 排出ガス対策型(第3次基準値) 山積0. 45m3(平積0. 35m3)	1-4 単価表 (3)		運転労務数量→1. 00 燃料消費量 →48 機械損料数量→1. 33					
(3) 運転1日当たり単価表									
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要					
運 転 手 （ 特 殊 ）		人							
燃 料 費		リットル							
機 械 損 料		供用日							
I C T 建 設 機 械 経 費 加 算 額		〃							
計									